

Ⅲ 調査結果の分析

1 定住性

1-1 居住年数

1-2 定住意向

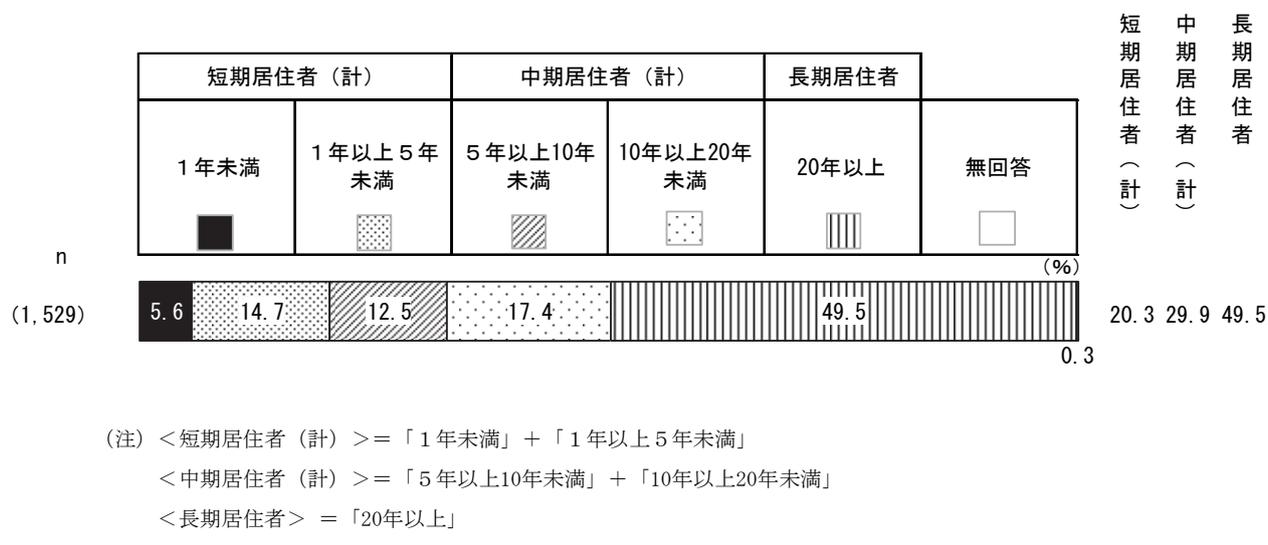
1-3 定住意向理由と転出意向理由

1-1 居住年数

- 「20年以上」の<長期居住者>が約5割

問1 あなたは、墨田区に住んで何年になりますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図1-1-1



墨田区に住んで何年になるか聞いたところ、「1年未満」(5.6%)と「1年以上5年未満」(14.7%)を合わせた<短期居住者（計）> (20.3%)が約2割、「5年以上10年未満」(12.5%)と「10年以上20年未満」(17.4%)を合わせた<中期居住者（計）> (29.9%)が約3割、「20年以上」の<長期居住者> (49.5%)が約5割となっている。(図1-1-1)

昭和59年からの推移をみると、<長期居住者>は平成14年以降、緩やかな減少傾向にある。

(図1-1-2)

ブロック別でみると、<長期居住者>はAブロックで約6割と高く、G・Hブロックで3割台と低くなっている。一方、<短期居住者（計）>はHブロックで3割を超えて高くなっている。

(図1-1-3)

図 1-1-2 居住年数構成の推移

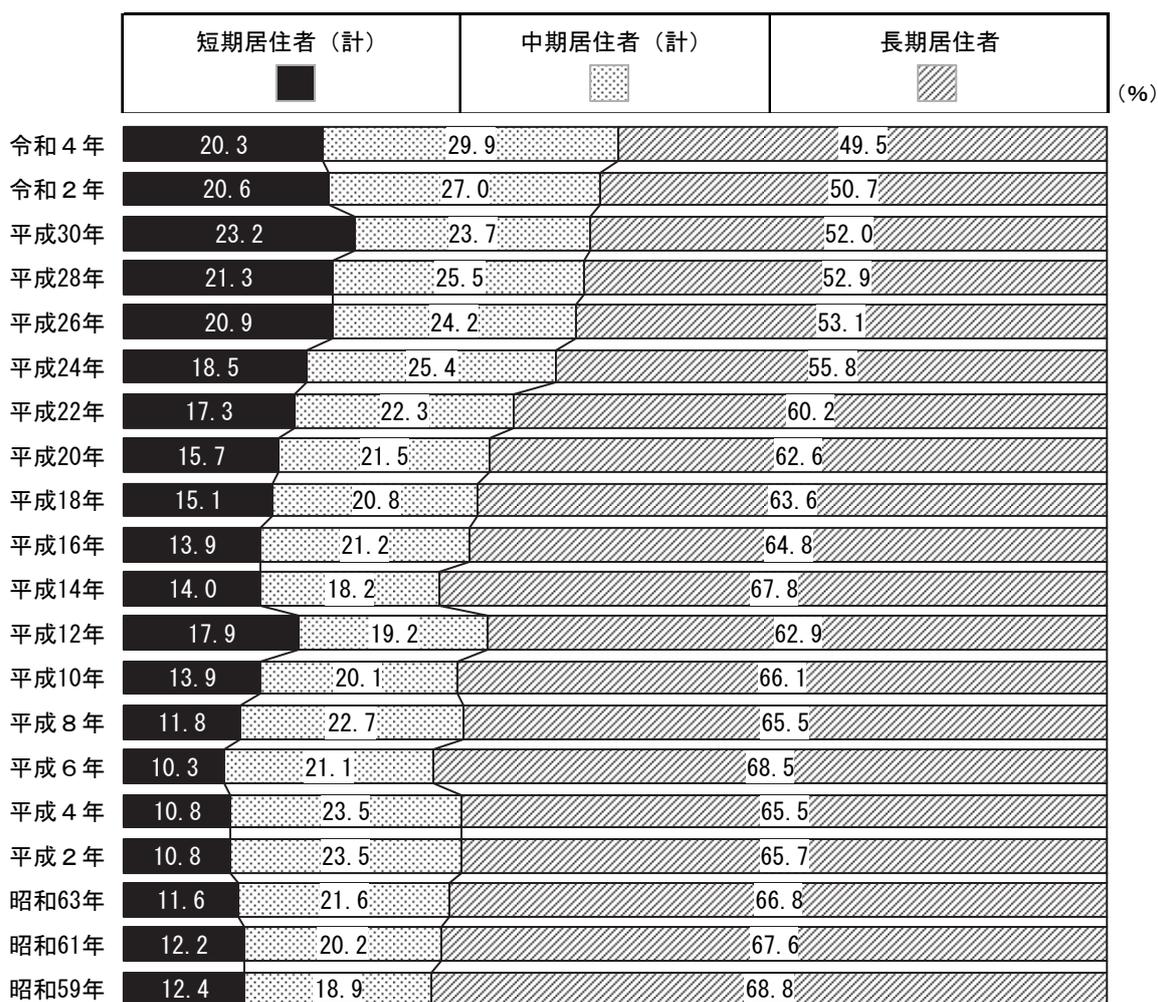
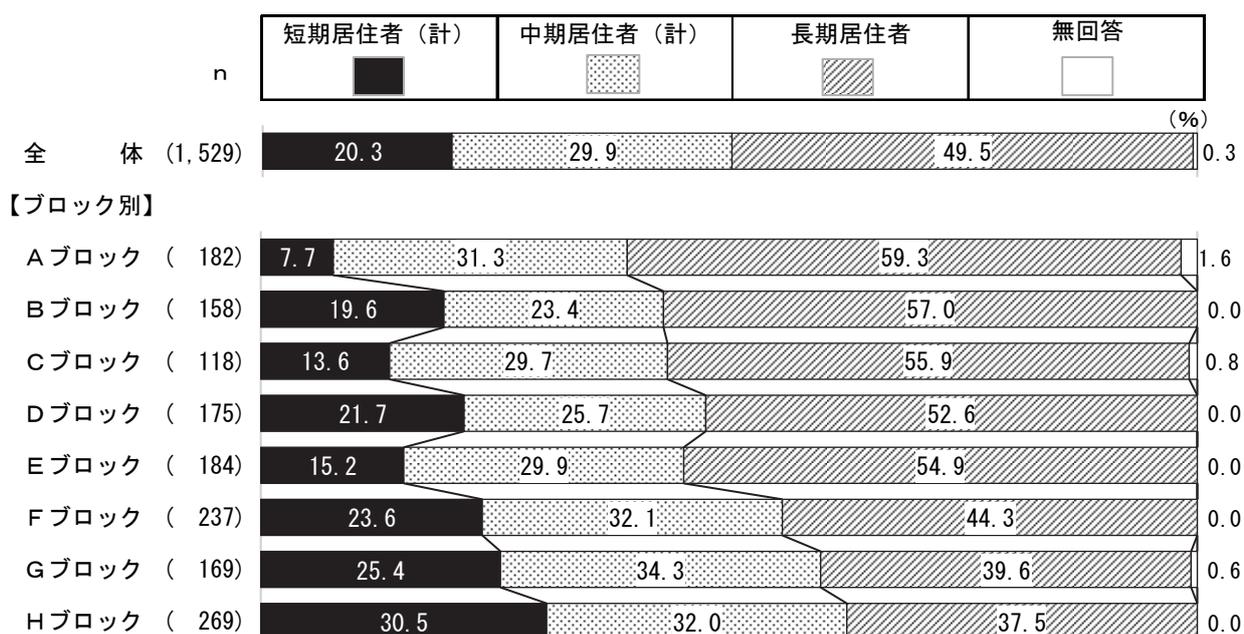


図 1-1-3 ブロック別 居住年数構成

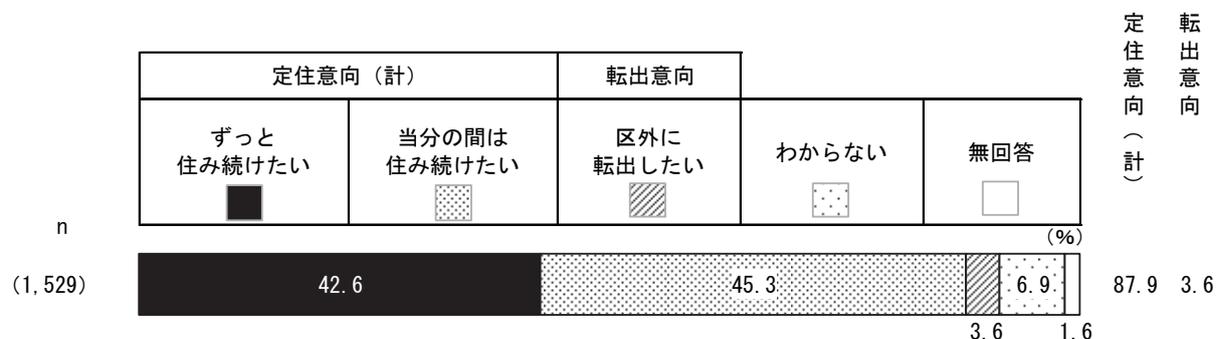


1-2 定住意向

- <定住意向（計）>が9割近く

問2 あなたは、これからも墨田区に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図1-2-1



(注) <定住意向（計）> = 「ずっと住み続けたい」 + 「当分の間は住み続けたい」

<転出意向> = 「区外に転出したい」

これからも墨田区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(42.6%)が4割を超え、これに「当分の間は住み続けたい」(45.3%)を合わせた<定住意向（計）>(87.9%)は9割近くとなっている。これに対して「区外に転出したい」(3.6%)という<転出意向>は1割未満となっている。(図1-2-1)

昭和59年からの推移をみると、<定住意向（計）>は平成10年をピークに平成20年まで減少傾向にあったが、平成22年で増加に転じ、8割台で推移している。(図1-2-2)

ブロック別でみると、<定住意向（計）>はG・Hブロックで9割台と高くなっている。

(図1-2-3)

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、<定住意向（計）>は女性40歳代で9割を超えて高くなっている。

(図1-2-4)

東京都・区部と比較すると、<定住意向（計）（住みたい）>は墨田区(87.9%)で9割近くとなっており、東京都(70.8%)より17.1ポイント、区部(72.4%)より15.5ポイント上回っている。

(図1-2-5)

図 1-2-2 定住意向の推移

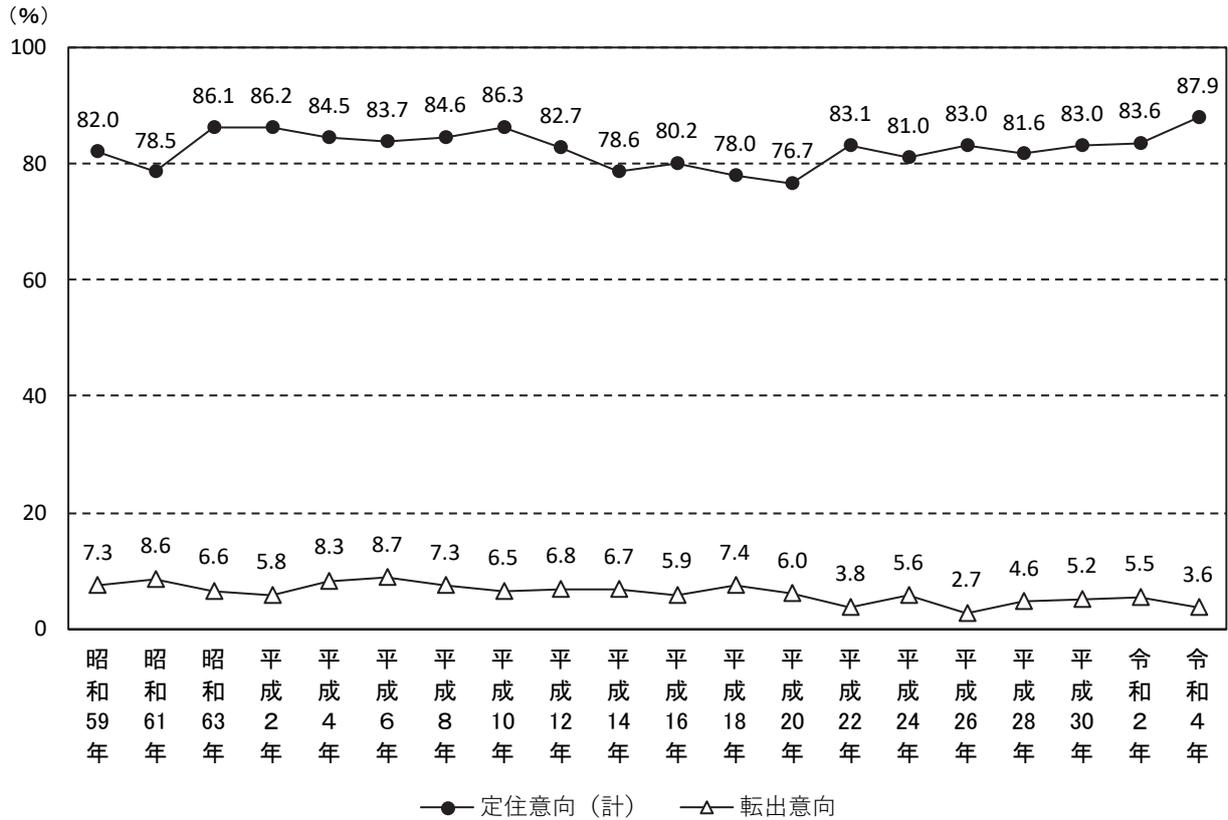


図 1-2-3 ブロック別 定住意向

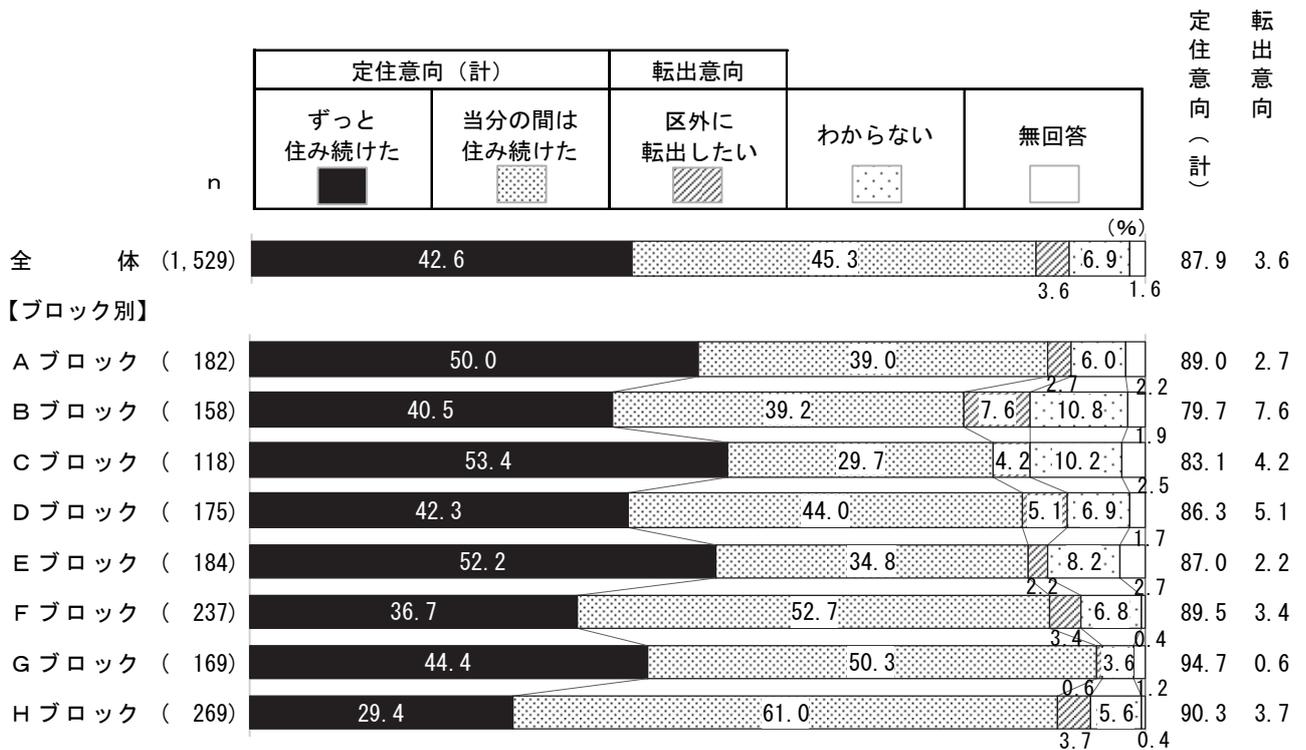


図 1-2-4 性別、性・年代別 定住意向

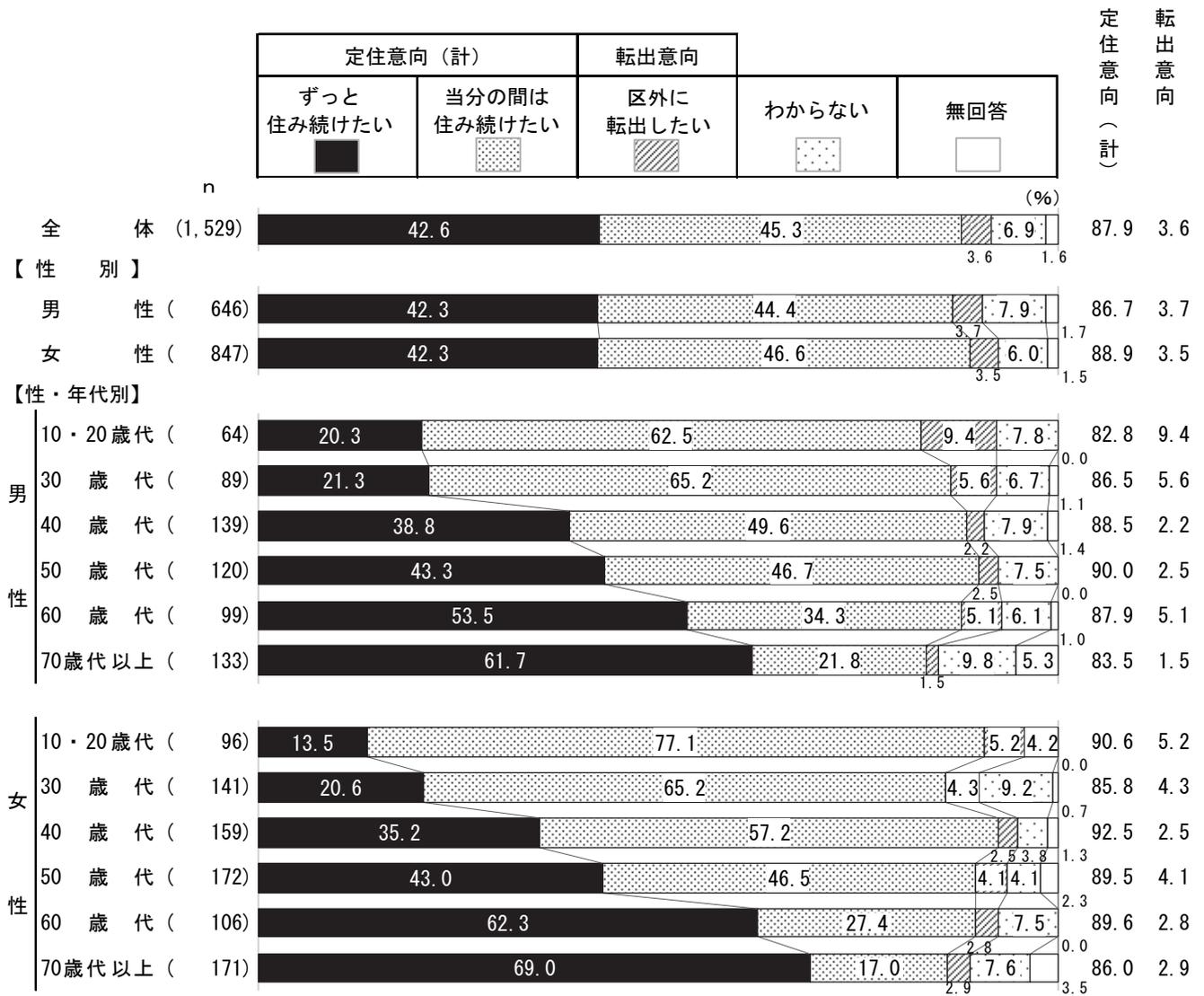
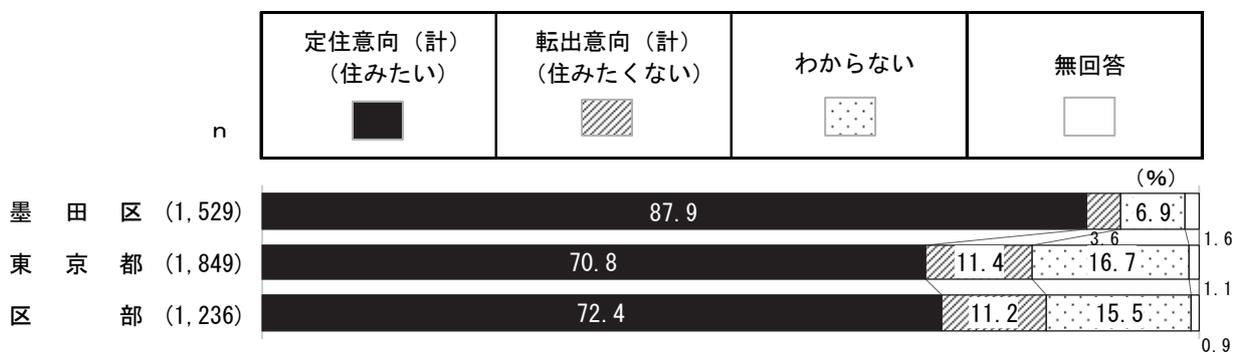


図 1-2-5 東京都・区部との比較 定住意向



(注1) 東京都と区部は地域定住意向の調査結果

(注2) 表頭の () 内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(令和3年)

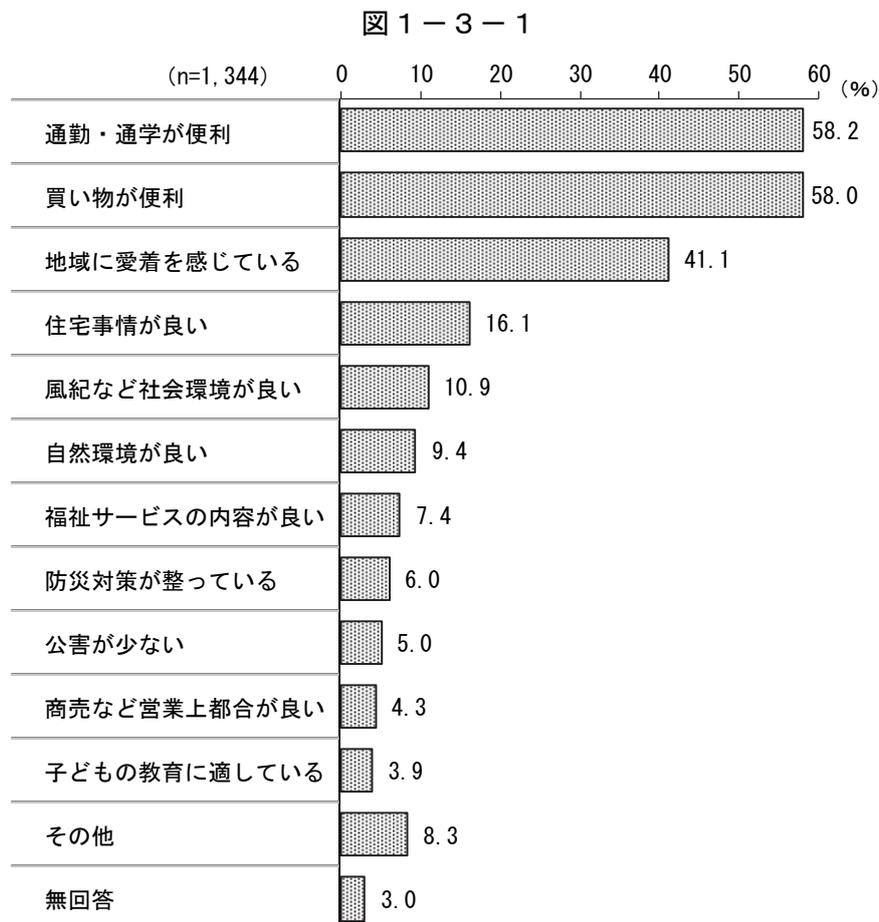
1-3 定住意向理由と転出意向理由

(1) 定住意向理由

- 「通勤・通学が便利」「買い物が便利」が6割近く

〔問2で「ずっと住みたい」・「当分の間は住みたい」と答えた方に〕

問2-1 その主な理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください



墨田区に「ずっと住みたい」、「当分の間は住みたい」という人(1,344人)にその理由を聞いたところ、「通勤・通学が便利」(58.2%)が6割近くで最も高く、次いで「買い物が便利」(58.0%)、「地域に愛着を感じている」(41.1%)、「住宅事情が良い」(16.1%)となっている。

(図1-3-1)

定住意向の理由上位3項目を属性別でみると、地域別では、北部は「買い物が便利」、「通勤・通学が便利」、「地域に愛着を感じている」の間に大きな差はないが、南部は「通勤・通学が便利」、「買い物が便利」が6割台と高くなっている。

ブロック別でみると、「買い物が便利」はB・C・E・Gブロックで第1位、「通勤・通学が便利」はA・D・F・Hブロックで第1位となっている。

性別でみると、男性は「通勤・通学が便利」、女性は「買い物が便利」が最も高くなっている。

性・年代別でみると、男女ともに50歳代以下の年代で「通勤・通学が便利」が最も高くなっている。男性60歳代で「地域に愛着を感じている」が最も高く、男性70歳代以上で「買い物が便利」と「地域に愛着を感じている」が同率で最も高くなっている。

女性の60歳代と70歳代以上で「買い物が便利」が最も高くなっている。(表1-3-1)

表1-3-1 地域別、ブロック別、性別、性・年代別 定住意向理由

(%)

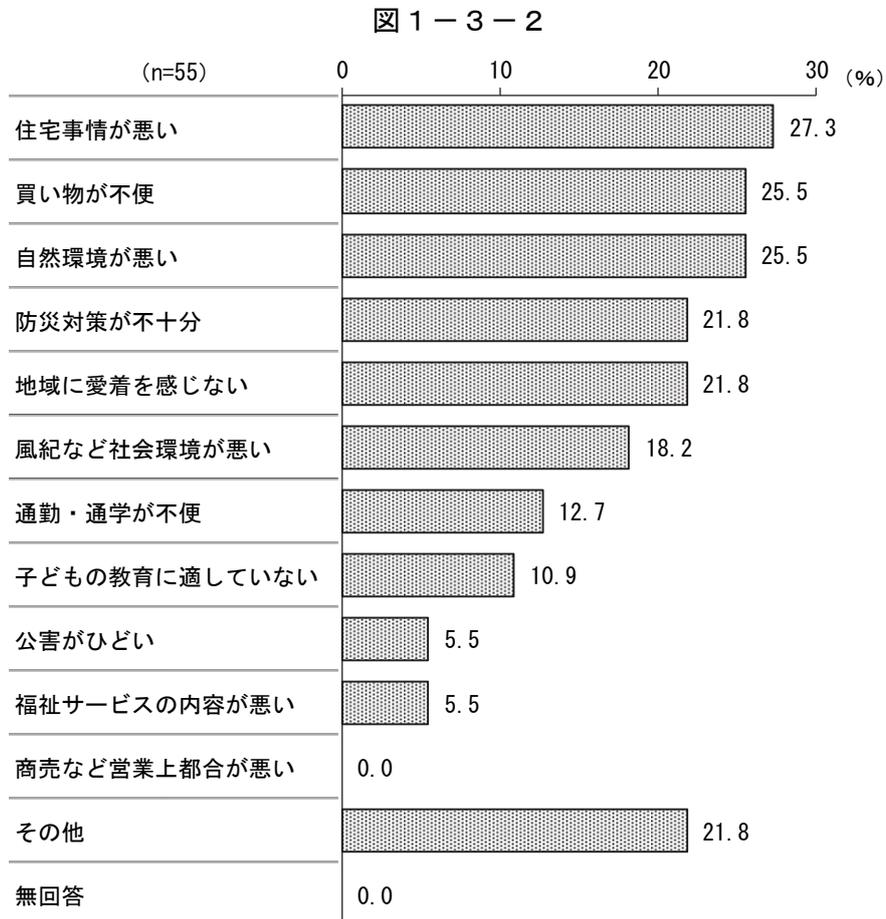
分析項目		n	第1位		第2位		第3位		
全 体		(1,344)	通勤・通学が便利	58.2	買い物が便利	58.0	地域に愛着を感じている	41.1	
地域別	北部地域	(697)	買い物が便利	53.7	通勤・通学が便利	50.9	地域に愛着を感じている	46.9	
	南部地域	(615)	通勤・通学が便利	67.6	買い物が便利	62.8	地域に愛着を感じている	34.1	
ブロック別	Aブロック	(162)	通勤・通学が便利	50.6	買い物が便利	46.9	地域に愛着を感じている	45.1	
	Bブロック	(126)	買い物が便利	55.6	地域に愛着を感じている	52.4	通勤・通学が便利	50.8	
	Cブロック	(98)	買い物が便利	56.1	地域に愛着を感じている	50.0	通勤・通学が便利	45.9	
	Dブロック	(151)	通勤・通学が便利	51.7	買い物が便利	49.7	地域に愛着を感じている	45.7	
	Eブロック	(160)	買い物が便利	61.3	通勤・通学が便利	53.8	地域に愛着を感じている	43.8	
	Fブロック	(212)	通勤・通学が便利	60.4	買い物が便利	51.9	地域に愛着を感じている	36.8	
	Gブロック	(160)	買い物が便利	81.3	通勤・通学が便利	67.5	地域に愛着を感じている	33.1	
	Hブロック	(243)	通勤・通学が便利	74.1	買い物が便利	60.1	地域に愛着を感じている	32.5	
性別	男 性	(560)	通勤・通学が便利	59.5	買い物が便利	55.2	地域に愛着を感じている	43.6	
	女 性	(753)	買い物が便利	60.0	通勤・通学が便利	58.2	地域に愛着を感じている	39.3	
性・年代別	男性	10・20歳代	(53)	通勤・通学が便利	73.6	買い物が便利	64.2	風紀など社会環境が良い	28.3
		30歳代	(77)	通勤・通学が便利	79.2	買い物が便利	57.1	住宅事情が良い／ 地域に愛着を感じている	19.5
		40歳代	(123)	通勤・通学が便利	76.4	買い物が便利	60.2	地域に愛着を感じている	42.3
		50歳代	(108)	通勤・通学が便利	68.5	地域に愛着を感じている	52.8	買い物が便利	51.9
		60歳代	(87)	地域に愛着を感じている	50.6	買い物が便利	43.7	通勤・通学が便利	42.5
		70歳代以上	(111)	買い物が便利／地域に愛着を感じている		56.8	通勤・通学が便利	24.3	
		10・20歳代	(87)	通勤・通学が便利	75.9	買い物が便利	70.1	地域に愛着を感じている	23.0
	女性	30歳代	(121)	通勤・通学が便利	66.1	買い物が便利	61.2	地域に愛着を感じている	24.8
		40歳代	(147)	通勤・通学が便利	70.7	買い物が便利	57.8	地域に愛着を感じている	34.7
		50歳代	(154)	通勤・通学が便利	74.7	買い物が便利	56.5	地域に愛着を感じている	41.6
		60歳代	(95)	買い物が便利	57.9	地域に愛着を感じている	49.5	通勤・通学が便利	42.1
		70歳代以上	(147)	買い物が便利	61.2	地域に愛着を感じている	55.8	通勤・通学が便利	22.4

(2) 転出意向理由

- 「住宅事情が悪い」が3割近く

〔問2で「区外に転出したい」と答えた方に〕

問2-2 その主な理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。



「区外に転出したい」という人(55人)にその理由を聞いたところ、「住宅事情が悪い」(27.3%)が3割近くで最も高く、次いで「買い物が不便」(25.5%)、「自然環境が悪い」(25.5%)、「防災対策が不十分」(21.8%)、「地域に愛着を感じない」(21.8%)となっている。(図1-3-2)